

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)				
市町村名	大町市	ふりがな 箇所名	きふね 木舟			事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H24年度			
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)				
	全体	溪間工 谷止工1個			19,000		国庫	その他	県債	一般財源	
	H24補正	同上			19,000		9,500		8,550	950	
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				ランク	評点	
	(20)	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	A				5
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし	5					
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0					
		保全対象(保安林・林業用施設)	■ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	□ 保安林率30%未満	7					
		小計									17
	(15)	重要性	過去の災害履歴	□ 過去5年に1回以上	■ 災害履歴地	□ なし	A				3
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大	□ 中	□ 小	5					
		防災計画上の位置づけ	■ あり	□ なし		5					
		小計									13
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C2.0以上	□ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	A				10
		早期発現度	■ 3年未満	□ 3年以上5年未満	□ 5年以上	7					
		流域の総合調整	□ あり	■ なし		0					
		小計									17
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	■ 50m未満	□ 50m以上200m未満	□ 200m以上	A				7
		地形、地質の状況	□ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	■ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯	□ その他	2					
		平均溪床勾配(平均山腹勾配)	■ 10°以上(30°以上)	□ 5°～10°未満(20°～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)	3					
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	□ なし	■ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	3					
		危険地区危険度	■ Aランク	□ Bランク	□ Cランク □ なし	7					
		小計									22
(20)	計画	地域からの要望	□ 地域住民活動強い	■ 市町村要望有り	□ 特に要望ない	B				7	
	熟度	事業情報の共有	□ 関係者以外にも周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない					3	
	住民参加の状況	□ 住民が直接参加	■ 住民市町村意見を反映	□ 住民意見反映していない	3						
	小計									13	
費用対効果(B/C)		8.71			評価の合計				A	82	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当地域は、平成16年の台風23号豪雨により、斜面崩壊・溪岸侵食が発生し、大量の土砂が流出した。谷止工計画地の上部には、山腹崩壊に起因する大量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨により、再び土砂が流出し、下流保全対象に被害を及ぼす恐れが高いため、早急に谷止工を施工して土砂流出の未然防止を図る必要がある。									
	地域からの要望経緯	地元自治会から対策要望。 大町市長より実施要望。H24.6.14									
	事業説明等の経緯	谷止工設置位置に係る地権者には個別に事業計画を説明し事業実施承諾済。(H24.11.18)。 平成25年4月19日に地元山下地区住民説明会を開催。									
	環境・景観への配慮項目	特になし。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
	特記事項	土石流危険渓流、土石流危険区域 土砂法「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」に指定されているため、H24.10.9、所管大町建設事務所に計画概要を情報提供済。									
地域の合意形成	■ 全員賛成			□ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明					
部意見	渓流内の不安定土砂の流出防止から、下流の人家、公共施設の保全を図るため、早急に対策工事を実施する必要がある。				行政改革課 意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。					